

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月14日

【四半期会計期間】 第48期第2四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店
(大阪府大阪市北区中之島三丁目2番18号)
株式会社大阪証券取引所
(大阪府大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第47期 第2四半期 連結累計期間		第48期 第2四半期 連結累計期間		第47期	
		自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日	自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日	自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日
売上高	(千円)	3,935,823		2,781,477		7,247,201	
経常損失()	(千円)	300,469		177,705		598,966	
四半期(当期)純損失()	(千円)	1,441,309		185,912		2,599,130	
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,431,840		171,581		2,604,334	
純資産額	(千円)	4,559,129		3,213,021		3,383,441	
総資産額	(千円)	12,437,641		10,877,755		11,541,314	
1株当たり四半期(当期) 純損失()金額	(円)	164.52		21.34		297.22	
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)	36.6		29.5		29.3	
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	46,957		144,464		375,868	
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	267,210		45,723		676,217	
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	119,745		320,871		134,392	
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	279,976		171,630		304,239	

回次		第47期 第2四半期 連結会計期間		第48期 第2四半期 連結会計期間	
		自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日
1株当たり四半期純損失()金額	(円)	142.00		9.17	

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第47期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 第47期第2四半期連結累計期間及び第47期、第48期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等） セグメント情報」の「2 . 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響で停滞していた経済活動に緩やかな回復の兆しが見えてきたものの、欧州の金融危機や長期化する円高、株価の低迷など依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、建設業界におきましては東日本大震災後の公共事業に復活期待が高まるものの、民間建築工事での競争激化や労務費上昇リスク等厳しい経済環境が続くなか、当社企業グループは徹底したコスト管理と営業・生産の総合力で受注高確保を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は27億81百万円（前年同四半期比29.3%減）、営業損失2億18百万円（前年同四半期は2億95百万円の営業損失）、経常損失1億77百万円（前年同四半期は3億円の経常損失）、四半期純損失1億85百万円（前年同四半期は14億41百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

PCカーテンウォール事業

工事量の減少やそれに伴う競争の激化で受注単価の低下が続くなかコストダウンに注力しておりますが、売上高及び利益ともに大幅にダウンしました。

この結果、売上高は19億73百万円（前年同四半期比37.7%減）、セグメント損失は2億21百万円（前年同四半期は79百万円のセグメント損失）となりました。

アクア事業

学校やスポーツ施設の新設プール工事に加え、既存プールのメンテナンス工事にも力を入れ売上拡大を図っております。

この結果、売上高は2億82百万円（前年同四半期比111.9%増）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期は23百万円のセグメント損失）となりました。

システム収納家具事業

価額競争が厳しいなかで粘り強い営業交渉により利益確保を図っております。

この結果、売上高は3億35百万円（前年同四半期比158.2%増）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期は74百万円のセグメント損失）となりました。

建設事業

組織のスリム化と効率よい活動で利益確保を目指しておりますが、売上高は伸びず利益も確保できませんでした。

この結果、売上高は2億4百万円（前年同四半期比68.1%減）、セグメント損失は10百万円（前年同四半期は1億19百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は108億77百万円と前連結会計年度末と比較して6億63百万円の減少となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が4億49百万円減少したことと、保険積立金が2億3百万円減少したことによるものであります。

負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は76億64百万円と前連結会計年度末と比較して4億93百万円の減少となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が3億13百万円減少したことと、社債が2億15百万円減少したことによるものであります。

純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は32億13百万円と前連結会計年度末と比較して1億70百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の欠損補填による資本剰余金16億97百万円の減少と、利益剰余金が同額の増加と四半期純損失の計上により15億11百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して1億8百万円減少して1億71百万円（前年同四半期比38.7%減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に未成工事支出金の増加額2億85百万円と売上債権の減少額4億49百万円により1億44百万円の資金増加（前年同四半期は46百万円の資金減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出40百万円と投資有価証券の売却による収入80百万円により45百万円の資金増加（前年同四半期は2億67百万円の資金減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に社債の償還による支出3億66百万円により3億20百万円の資金減少（前年同四半期は1億19百万円の資金増加）となりました。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

特記事項はありません。

(6) 従業員数

連結会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、P Cカーテンウォール事業の従業員数は8名、アクア事業は2名、システム収納家具事業は2名、建設事業は9名、それぞれ減少しております。その主な理由は自己都合により退職したことによるものであります。

提出会社の状況

当第2四半期累計期間において、著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	9,553,011	9,553,011		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月30日		9,553,011		4,542,968		

(6) 【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
高橋 武治	東京都品川区	1,663	17.41
高橋 敏男	東京都港区	1,289	13.49
岩崎 陽子	東京都世田谷区	477	4.99
高橋 宗敏	東京都港区	392	4.11
高橋 亜紀子	東京都港区	381	3.99
和泉 孝雄	大阪府枚方市	325	3.40
高橋 則子	東京都渋谷区	271	2.84
高橋 雅代	東京都世田谷区	235	2.46
藤田 修二	千葉県浦安市	148	1.55
高橋 幸子	東京都港区	138	1.44
計		5,323	55.72

(注) 上記のほか当社所有の自己株式841千株(8.81%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 841,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,640,000	8,640	
単元未満株式	普通株式 72,011		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		8,640	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式625株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 室町3丁目2番15号	841,000		841,000	8.80
計		841,000		841,000	8.80

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	454,239	311,630
受取手形・完成工事未収入金等	1,403,687	953,825
未成工事支出金	2,114,096	2,400,086
その他のたな卸資産	¹ 97,667	¹ 63,704
その他	93,691	76,273
流動資産合計	4,163,382	3,805,521
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,006,469	970,758
土地	1,504,294	1,546,610
その他(純額)	151,605	124,533
有形固定資産合計	2,662,368	2,641,902
無形固定資産	110,179	106,980
投資その他の資産		
投資有価証券	221,065	157,061
投資不動産(純額)	2,590,457	2,570,886
保険積立金	1,057,072	853,799
その他	779,225	784,059
貸倒引当金	42,437	42,457
投資その他の資産合計	4,605,382	4,323,351
固定資産合計	7,377,931	7,072,233
資産合計	11,541,314	10,877,755
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,240,855	927,446
短期借入金	2,048,088	2,134,088
1年内償還予定の社債	1,231,400	1,081,100
未成工事受入金	333,264	511,191
工事損失引当金	117,580	129,560
引当金	37,469	30,882
その他	182,821	147,387
流動負債合計	5,191,478	4,961,655
固定負債		
社債	838,900	623,200
長期借入金	1,356,551	1,325,507
役員退職慰労引当金	372,167	353,452
引当金	1,585	1,414
その他	397,190	399,504
固定負債合計	2,966,393	2,703,078
負債合計	8,157,872	7,664,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,542,968	4,542,968
資本剰余金	1,697,751	-
利益剰余金	2,681,059	1,169,221
自己株式	153,729	153,899
株主資本合計	3,405,930	3,219,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,726	12,395
その他の包括利益累計額合計	26,726	12,395
新株予約権	4,237	5,569
純資産合計	3,383,441	3,213,021
負債純資産合計	11,541,314	10,877,755

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
完成工事高	3,935,823	2,781,477
完成工事原価	3,815,352	2,670,651
完成工事総利益	120,470	110,826
販売費及び一般管理費	1 415,932	1 329,204
営業損失()	295,461	218,378
営業外収益		
受取利息	1,004	329
受取配当金	1,662	2,314
投資有価証券売却益	567	5,550
保険解約返戻金	15	42,738
投資不動産賃貸料	28,979	56,065
鉄屑売却収入	17,842	17,718
その他	23,843	33,860
営業外収益合計	73,915	158,577
営業外費用		
支払利息	37,808	40,125
社債発行費	2,409	-
投資有価証券評価損	3,339	871
不動産賃貸費用	19,304	40,676
その他	16,060	36,230
営業外費用合計	78,922	117,904
経常損失()	300,469	177,705
特別利益		
完成工事補償引当金戻入額	2,740	-
特別利益合計	2,740	-
特別損失		
固定資産除却損	19,792	1,392
減損損失	677,000	-
災害による損失	29,488	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,842	-
特別損失合計	731,124	1,392
税金等調整前四半期純損失()	1,028,853	179,098
法人税、住民税及び事業税	5,086	5,203
法人税等調整額	407,368	1,610
法人税等合計	412,455	6,814
少数株主損益調整前四半期純損失()	1,441,309	185,912
四半期純損失()	1,441,309	185,912

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	1,441,309	185,912
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	9,468	14,330
その他の包括利益合計	9,468	14,330
四半期包括利益	1,431,840	171,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,431,840	171,581

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	1,028,853	179,098
減価償却費	105,656	93,481
減損損失	677,000	-
投資有価証券評価損益(は益)	3,339	871
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,842	-
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12,179	18,714
工事損失引当金の増減額(は減少)	17,293	11,980
引当金の増減額(は減少)	16,302	6,758
受取利息及び受取配当金	2,666	2,643
投資有価証券売却損益(は益)	567	2,647
支払利息	37,808	40,125
売上債権の増減額(は増加)	87,115	449,861
未成工事支出金の増減額(は増加)	379,036	285,990
その他のたな卸資産の増減額(は増加)	88,173	33,963
保険積立金の増減額(は増加)	14,302	203,272
その他の資産の増減額(は増加)	61,323	7,566
仕入債務の増減額(は減少)	63,691	313,409
未成工事受入金の増減額(は減少)	131,164	177,926
その他の負債の増減額(は減少)	100,270	23,798
その他	7,308	3,592
小計	611	189,581
利息及び配当金の受取額	2,936	2,892
利息の支払額	40,479	37,894
法人税等の支払額	10,026	10,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,957	144,464
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	10,000
有形固定資産の取得による支出	147,383	40,651
投資有価証券の売却による収入	3,053	80,109
投資不動産の取得による支出	106,175	7,604
貸付金の回収による収入	5,358	3,997
その他	22,063	126
投資活動によるキャッシュ・フロー	267,210	45,723
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	480,000	86,000
長期借入金の返済による支出	69,050	31,044
社債の発行による収入	97,590	-
社債の償還による支出	379,300	366,000
その他	9,495	9,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,745	320,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	305	1,925
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	194,116	132,609
現金及び現金同等物の期首残高	474,092	304,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 279,976	1 171,630

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
1 その他のたな卸資産の内訳は次のとおりであります。	1 その他のたな卸資産の内訳は次のとおりであります。
商品 14千円	商品 11千円
材料貯蔵品 97,653	材料貯蔵品 63,693
2 受取手形割引高 192,085千円	2 受取手形割引高 279,005千円
	裏書手形 19,109

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。
従業員給料手当 143,153千円	従業員給料手当 114,683千円
賞与引当金繰入額 9,186	賞与引当金繰入額 6,461

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年6月30日現在)	1 現金及び現金同等物の四半期期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年6月30日現在)
現金預金 419,976千円	現金預金 311,630千円
預入期間が3か月超の定期預金 140,000	預入期間が3か月超の定期預金 140,000
現金及び現金同等物 279,976千円	現金及び現金同等物 171,630千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,166,017	133,147	129,962	506,696	3,935,823		3,935,823
セグメント間の内部売上高 又は振替高				134,673	134,673	134,673	
計	3,166,017	133,147	129,962	641,369	4,070,496	134,673	3,935,823
セグメント損失()	79,052	23,589	74,839	119,125	296,606	1,144	295,461

(注)1 セグメント損失()の調整額1,144千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,973,385	282,133	335,608	190,350	2,781,477		2,781,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高				14,235	14,235	14,235	
計	1,973,385	282,133	335,608	204,585	2,795,713	14,235	2,781,477
セグメント利益又はセ グメント損失()	221,606	2,549	8,444	10,998	221,610	3,232	218,378

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額3,232千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社企業グループの経営資源の配分の決定及び業績評価の対象を見直した結果、前第2四半期連結累計期間において「その他」に含めていた「不動産賃貸事業」及び「環境関連ビジネス」については、第1四半期連結会計期間より「建設事業」に含めて記載する方法に変更しております。これにより、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントについては、変更後の区分に組替えて作成しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純損失()金額	164円52銭	21円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失()金額(千円)	1,441,309	185,912
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失()金額(千円)	1,441,309	185,912
普通株式の期中平均株式数(株)	8,760,620	8,711,960

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月13日

高橋カーテンウォール工業株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 齋 藤 勉 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 三 井 智 宇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。